ボーイズリーグ

BOYS LEAGUE
日本少年野球連盟

笑顔MVP!
小林 奏和
横浜泉中央ボーイズ

「笑顔MVP」は選手がグラウンドで見せた最高の表情を紹介しています。次回はキミかも？

福原初完封!! 2007年創部で

初 前橋桜 8強 麻生

メニコン杯 第28回関東ボーイズリーグ大会

4回戦、5回戦が4月27日に各地で行われた。春季全国大会に出場した前橋桜ボーイズ（群馬）は福原彪叶投手、主将の瑞慶山桜大捕手（ともに3年）の活躍などで初の8強入り。麻生ボーイズ（神奈川）は代打の切り札・越智啓翔（3年）が2試合連続で代打タイムリーを放ち、こちらも初の8強進出を果たした。3日に準々決勝、4日に準決勝、決勝が行われる。小学生の部は4強が決まり、3日に準決勝、4日に決勝が行われる。

▽4回戦（4月27日、群馬・西毛総合運動公園野球場）

前橋桜ボーイズ（群馬）	110	010	0	3
江戸崎ボーイズ（茨城）	000	000	0	0

【前】福原―瑞慶山
【江】朝日向、根本―菊地
二原田（前）

▽5回戦

前橋桜ボーイズ（群馬）	341	03	11
宮城仙北中央ボーイズ（東北中央）	000	30	3

（5回コールド）
【前】都筑、原田―瑞慶山
【北】犬飼大、菅野、高橋晴―犬飼陽
三瑞慶山（前）　二瑞慶山（前）

瑞慶山主将3安打

2007年創設の前橋桜が初の8強入りを決めた。投打の軸が本領を発揮した。

4回戦では先発・福原が好投。初回の1死二、三塁のピンチをしのぐと、尻上がりに調子を上げゼロを並べる。5回以降は完全投球。72球で被安打4はいずれも単打。公式戦初完封勝利だ。「（試合前の）ブルペンで（ストライクが）入らなくてどうなるかと思った」と福原。精度の悪い変化球を捨て、直球主体の投球で押した。「次の投手が準備していたので、つなごうと思った」と無欲の完封劇だ。

5回戦は1番・捕手の瑞慶山主将が躍動。初回に初球を右前に運び先制のホームを踏むと、2回には右越え二塁打、3回には右中間のタイムリー三塁打。4打数3安打の大暴れだ。

2、3回戦は終盤まで劣勢をはね返しての辛勝。瑞慶山主将は「アップから真剣にやろう」とチームにカツを入れ、自分を追い込んだ。父との打撃練習で前に行き過ぎていたポイントを修正。この日の快打につなげた。

春季全国大会は初戦敗退。悔しさを力に変えた。春季全国で1番をつけた福原は今大会「10番」も「気にしていない。自分のやることをやるだけ」とキッパリ。覚悟の決まった男たちがいる前橋桜は強い。

前橋桜		
選手名		学年
瑞慶山	桜大	❸
原田	虎翔	③
金井	創佑	③
須田	士温	③
塚本	汰生	③
都筑	結斗	③
岡本	健吾	③
亀山	翔太	③
河野	粋	②
福原	彪叶	③
野口	昌汰	③
青木	暖和	②
小川	叶翔	②
柏瀬	浬大	③
中條	琥白	③
瀬沼	蒼史	②
吉田	怜央	③
齋賀	孝一郎	②
松井	琉輝	③
坂本	柚妃	③
齋藤	央侑	②
阿久津	昱気	②
田中	陽仁	②
松井	翔太	②
栗原	瑛	②

※学年の白抜きは主将

3回無死一塁で右中間へ三塁打した瑞慶山はガッツポーズ

江戸崎打線を寄せつけず完封勝利を挙げた福原

5回を3失点と好投した朝日向

夏は全国狙う

江戸崎 先発の朝日向翔夢（3年）は5回5安打3失点（自責2）。ハイテンポで投げ込むスタイルで好投した。「今日はツーシームが良かった。追い込んで甘く入ったのは反省点」と語るが、先月20日の吉川美南戦で4回参考完全試合を達成。今年は春季全国大会出場を逃し、連続出場は4年でストップも、渋谷泰弘監督（46）は「夏に向けて階段を順調に上がっていることは間違いない。狙っている（全国大会出場権を）取りたい」と意欲満々だ。

創部22年目で

ここぞの越智

創部22年目の麻生が初のベスト8入り。2試合連続逆転勝ちの立役者は、代打で2試合連続タイムリーを放った越智だ。4回戦では1点を追う7回1死二塁の好機で登場。富澤清徳監督（58）が「勝負強いので、ここぞという場面で使いたかった」という期待に応えてライトオーバーの同点三塁打。その後、齋藤の二塁打で決勝のホームを踏んだ。

越智は続く5回戦でもチームを救った。延長8回タイブレークで1点を勝ち越され、その裏1死満塁で代打起用され左前へ同点打。「外角のカーブを引っかけないように逆方向に打った。百点満点のバッティングです」と満面の笑み。この一打がチームに勢いをもたらし、2死満塁から武石の押し出し死球でサヨナラ勝ち。

麻生は前身の麻生ジャイアンツ時代を含め、全国大会に春夏3度出場しているが、関東BL大会では2018年の16強が最高だった。「この大会に入ってから選手が成長した。チーム全体のレベルが上がっている」と富澤監督は手応え。富田主将は「今は先制されても、全員が逆転できると信じてプレーできている」と自信に満ちた顔つき。古豪復活へ熱い戦いが続く。

▽4回戦（4月27日・西多摩ボーイズグラウンド）

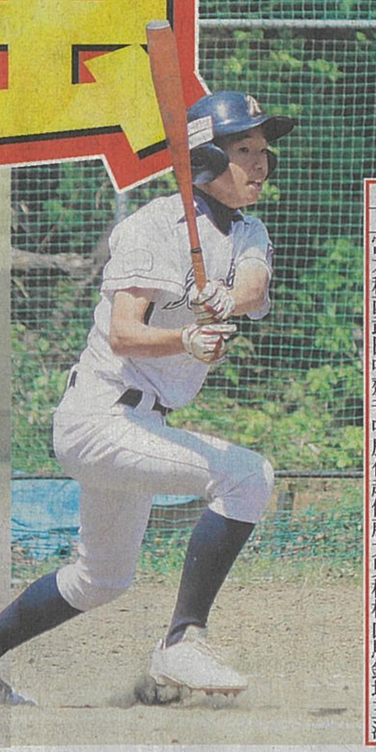
麻生ボーイズ（神奈川）	001	000	2	3
松本ボーイズ（長野）	200	000	0	2

【麻】藤田、富田―稲葉
【松】市川、岡庭―本木
三越智（麻）岡庭、本木、清水（以上松）　二田向、齋藤（以上麻）

▽5回戦

立川ボーイズ（東京西）	000	020	1	1	4
麻生ボーイズ	000	120	0	2X	5

（延長8回タイブレーク）
【立】新井、川﨑、栗原、伊藤、川﨑、物袋―加藤、川﨑、白石
【麻】藤田、木曽、鹿野、富田、武石―稲葉
二田向（麻）



4回戦の7回、代打で同点三塁打を放った越智

麻生		
選手名		学年
富田	颯真	❸
木曽	聡堯	③
稲葉	遙士	③
西山	修司	③
武石	翔真	③
田向	蒼汰	③
中垣	陽翔	③
齋藤	壮佑	③
千秋	賢汰	③
中野	祥慈	③
鹿野	凌来	③
佐藤	航大	③
越智	啓翔	③
伊藤	直太朗	③
藤田	陽人	③
大橋	優斗	③
児玉	蒼太	③
柳町	侑茉	③
橘	翔	③
山口	想	③
馬渡	龍之介	③
鈴木	琢磨	③
坂西	翼	②
玉城	聡大	②
清水	友翔	②

立川初の16強

▽4回戦

世田谷成城ボーイズ（東京西）	010	024	7
立川ボーイズ	103	004X	8

（6回時間切れ）
【世】坂本、上村、立川―大澤
【立】伊藤、川﨑、新井―宮下
三栗原（立）

"サヨナラ勝ち"

立川が4回戦でルーズベルトゲームを制して14年にチームを創設して以来、初のベスト16入り。

3点を追う6回2死走者なしから反撃。一、二塁から諸星雄輝主将、栗原慶太（ともに3年）の連続タイムリーで1点差。満塁から染野佑翔、川﨑大夢（ともに3年）の連続押し出し四球で勝ち越し。ここで時間切れで"サヨナラ勝ち"した。

勢いそのままに臨んだ5回戦では、延長8回逆転サヨナラ負け。諸星
ち切れなかった
ちに力がなかった
こまで来られた
に変えて、夏に向
りたい」と前を向

6回2死満塁で押し出し四球を選び喜ぶ川崎

悔しい逆

世田谷成城
スルリと逃げた。
う6回、2死満塁
勇羽（3年）の中
同点。郡山海大
押し出し死球で勝
大津陽真（3年）
げに敵失がから
その裏、2死を取
あと1つのアウ
転された。勝負
（48）は「チーム

◆関東ボーイズリーグ大会 準々決勝以降◆

- 前橋桜（群馬）―湘南（神奈川県央）　3ケ10:30
- 狭山西武（埼玉西）―東京城南（東京東）　3ケ13:00
- 東村山中央（東京西）―宮城仙南（東北中央）　3藤11:30
- 麻生（神奈川）―武蔵嵐山（埼玉西）　3藤14:00
- 準決勝　4ケ9:00／4ケ11:30
- 決勝　4ケ14:00

【球場】ケ＝本庄・ケイアイスタジアム、藤＝藤岡市民球場

▽4回戦・北ブロック
宮城仙北中央 11―6 寒河江
武蔵嵐山 8―1 白河
藤岡 7―1 小山
佐野 8―6 宮城仙北
狭山西武 11―10 新潟
上三川 8―1 日立
宮城仙南 8―4 越谷

▽4回戦・南ブロック
志村 9―0 南総京葉
東村山中央 10―2 湘南茅ケ崎
横浜泉中央 9―2 青山東京
東京城南 4―3 都筑中央
湘南 7―4
東葛飾 15―4

▽5回戦・北ブロ
武蔵嵐山 12―2
狭山西武 7―0
宮城仙南 1―0

▽5回戦・南ブロ
東村山中央 18―2
東京城南 5―2
湘南 12―3

【小学生の部】
▽リーグ戦・A組
埼玉上尾 17―2
勝呂 17―0
※①埼玉上尾②勝呂
メント進出
▽リーグ戦・B組
東京世田谷 13―0
都筑中央 10―3
※①都筑中央②東京
T進出
▽リーグ戦・C組
宇都宮・上三川・栃木さくら 16―3

ジャイアンツ杯支部予選 各地で熱戦!!

第19回全日本中学野球選手権（ジャイアンツカップ）の支部予選が各地で行われた。神奈川は神奈川県支部、神奈川県央支部による順位決定戦が行われた。3位の横浜泉中央はリーグ対抗の神奈川1次予選に、1位の湘南、2位の横浜南は同2次予選に出場する。長野県支部に所属する新潟の3チームも予選を行い、新潟が勝利。春季山梨県支部大会もジャイアンツカップ支部予選も兼ねる。

◆ジャイアンツカップ支部・神奈川県央支
29日・綾瀬スポーツ
場）
▽第3代表決定戦
横浜泉中央ボーイズ　101 0
平塚ボーイズ（神奈川　000 1
【泉】小林、高橋、尾崎
【平】加納、川瀬、柳光、
三安食（泉）齋藤（
▽第1代表決定戦
湘南ボーイズ（神奈川　23
横浜南ボーイズ（神　00
（5回コールド）
【湘】吉原、今任―
【南】森本、竹内―
本加藤（湘）三澤田（
近堂、太田、中村（

加藤大暴れ!!

湘南 2年ぶりジャイアンツカップ出場に向け、大勝で予選第1代表をゲット。捕手の加藤大雅（3年）が2番から1番打者に〝昇格〟し、右越え本塁打を含む4打数3安打の活躍に「（1番は）いっぱい打席が回ってくる。1位通過したかったのでうれしい」と笑顔。田代栄次監督
っかり振れてい
ピッチャー」と、2
と好投した左腕・
年）らに期待した

4打数3安打と活躍した加藤は積極走塁も

坂本夏へ

平塚 6回に1
るも惜敗に
督（55）は「チャン
出るか出ないかの
とは基本がしっか
か」と話した。左
ていた右腕・坂本
年）が6回途中に
し今春、公式戦初
たした。「（先発
ー（一心＝3年）と
ースとして期待し
夏に向けて頼もし
活だ。